

## 第10回キャンパスビジット 事後報告書

キャンパスビジット実行委員会 代表

医学科4年 村山 美夏

令和4年6月26日(日)、私たちは第10回キャンパスビジットを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて、前回と同様にzoomを利用したオンラインでの開催となりましたが、今回のキャンパスビジットも県内外から約70名の高校生にご参加いただきました。

このキャンパスビジットは、本学医学科への進学を考えている方や、本医学科に興味を持っている高校生等を対象にしたものです。毎年夏に行われる大学によるオープンキャンパスとは一味違い、有志学生から成る実行委員会が主体となり、本学医学科の魅力や医学科生のキャンパスライフを紹介し、グループディスカッションなどを通して、参加者の受験勉強に対するモチベーションを上げてもらうことを目的としています。今回のキャンパスビジットでは、在校生・講師の先生からのお話、現役大学生を交えての座談会、グループに分かれての臨床推論、閉会後には学生による進路相談会を行いました。以下に各企画について詳細にレポートしたいと思います。

まず開閉会式では泉川先生よりご挨拶を頂きました。次に在校生講話では、2年佐瀬と3年浦野より大学生活についての話や、コロナ時代に入学したからこそ経験できたこと、などイラストや写真を多く用いて、説明してくれました。次の病態推論では学生スタッフ1~2名と高校生10名程度のグループに分かれてグループディスカッションをしたのち、4年波平と4年尾崎が症例解説をしました。今回はアニサキス症と白血病を扱いましたが、症例を見て高校生から色んな病名が出たり、レベルの高い質問もあり、私たち学生にとっても非常に勉強になる企画でした。

先生のご講演では、小児科の森内浩幸先生と地域医療学の永田康浩先生をお招きしました。森内先生からは「青春の夢」という題で、小児への熱い思い、夢を追うことについてなど踏み込んだお話を、永田先生からは「地域と生活(くらし)を支える医療」という題で、地域医療に従事されるようになった経緯、実際の離島での経験などについてのお話をいただきました。ここでも高校生からたくさんの質問が寄せられましたが、中には先生が驚かれるほどの専門的な質問もあり、参加して下さった高校生の医学に対する興味関心の高さを感じました。座談会では病態推論と同様の班に分かれ、受験勉強や地域枠について、大学生活などのことについて自由に話しました。

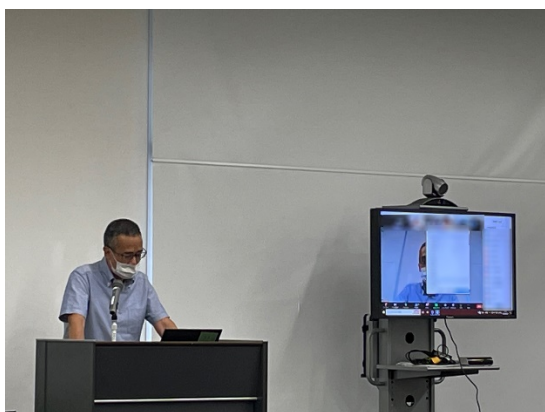
閉会式後の進路相談会では希望者のみを対象としましたが、多くの高校生が参加してくれました。入試枠ごと(地域枠A・B、佐賀枠、グローバル枠、一般入試)にブレイクアウトルームを設置し、高校生に参加したいルームに入室してもらうという形をとって行いました。

ここで、アンケート結果を踏まえた振り返りをしたいと思います。開催日に関してですが、実

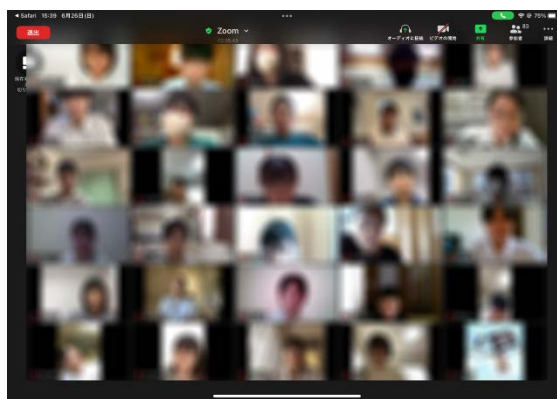
施した日が高校では定期試験期間に重なっており、そこを配慮してほしいとの声が多く見受けられました。前回もこういった意見が寄せられていたのにも関わらず、改善できていなかったため、開催日をあと1週間遅らせる、など具体的な策を考えなければならないと思います。アンケートの感想の欄には、大学生のリアルな声が聞けて良かった、先生の講話を聞いてもっと医学に興味を持った、などの声がありました。また、進路相談会の時間が少し短く感じたという意見もあったので、次回開催するときは、時間の配分も多めにとるとよいと思います。

最後になりましたが、参加して下さった高校生の皆様、大学関係者の皆様、本当にありがとうございました。実行委員の至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけしましたことも多くありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に第10回キャンパスビジットを開催することが出来ました。実行委員スタッフを代表して心より御礼申し上げます。引き続きキャンパスビジットをよろしく願いいたします。

【開会式 泉川先生のご挨拶】



【参加して下さった方々】



【病態総論 波平・尾崎】

グループワーク

- 22歳女性
- 主訴
  - 腹痛(みぞおち)の激しい痛み
  - 吐き気
- 現病歴
  - 来院当日の早朝から冷や汗が出るほどの激しいみぞおちの痛みと吐き気 → 救急外来を受診
  - 痛みは軽快したり増悪したり
  - 来院前日、夕食にしめ鯖を食べた
  - 意識清明、体温36.3℃
  - 呼吸、脈拍、血圧はすべて正常
  - 心電図も正常

・「腹痛」を来す疾患？

・グループで考えてみよう！

症例2

- 12歳、男子
- 主訴:歯茎からの出血、全身倦怠感
- 今朝、歯磨き中に歯茎から出血。1時間ほど経過しても出血が止まらず、母とともに休日救急外来を受診。ここ1週間ほど、鼻血がよく出ているという。
- 血液検査の結果、白血球増加、中等度の貧血、血小板減少が認められた。また、リンパ芽球様細胞も確認された。
- 服薬歴、既往歴なし

【森内先生のご講演】

でも、  
心拍4回につき呼吸1回  
心拍11回につき腸蠕動1回  
心拍80回で血液は一回り  
これらは皆同じ!

体重 2~20 g  
羽ばたき 毎秒80回  
心拍 毎分500回!

そして、  
一生涯の心拍数 (15億回)  
心拍1回あたりのエネルギー (2ジュール/kg)  
つまり一生かけて費やす心臓エネルギー  
(30億ジュール/kg)は皆同じ!

体重 ~130 t  
心拍 毎分6~7回!

体重 4~8 t  
心拍 毎分20回!

厳格体罰  
右前頭前野内側部 (感情・理性) 19.1%減少 / 右前帯状回 (実行機能) 16.9%減少 / 左前頭前野背外側部 (認知) 14.5%減少

性的虐待  
左半球の視覚野 (詳細な像を認識) 8%減少 / 左筋様状回18%減少 / 左中後頭回9.5%減少など  
特に11歳までの虐待が強く影響

暴言虐待  
左半球の上側頭回 (聴覚性言語中枢が存在) 灰白質14.1%増加 (⇒両親の学歴が高いほど容積は小さい)

前頭葉 頭頂葉 側頭葉 後頭葉

(参考) 友田明美, 「児童虐待が脳に及ぼす影響—脳科学と子供の発達, 行動—」, 『脳と発達』Vol.43 (2011年) P345-351.

ただし、治療によって回復するチャンスがある。

【永田先生のご講演】

7. 学生へのメッセージ

- 好奇心 curiosity
- 責任感 responsibility
- やり抜く力 grit

未来を創造する力を蓄えてください

Yasuhiko Negata

【スタッフの様子】



【集合写真】

